

名前： 渡邊 浩史

最終学歴： 佛教大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程修了

職名： 教授

学位： 文学博士

担当科目： 日本文化講義 A、B、教養演習 C1、社会文化入門 C1、日本文学概説、専門演習第 15、専門基礎演習第 15

所属学会： 日本近代文学会、日本近代文学会関西支部、昭和文学会、四季派学会、日本現代詩研究者国際ネットワーク

専門分野： 日本文学（近・現代）

■研究業績

【著書】（共著、編著、執筆分担を含む）

1. 『中原中也 メディアの要請に応える詩』（主著）れんが書房新社 2012 年
2. 『幼児からのくもんの詩のカード』（共著）くもん出版 2005 年
3. 『現代詩大事典』（共著）三省堂 2008 年
4. 『滋賀近代文学事典』（共著）和泉書院 2008 年
5. 『「私的には…」からの脱出』（共著）創文社 2009 年
6. 『兵庫近代文学事典』（共著）和泉書院 2011 年
7. 『新編「私的には……」からの脱出』（共著）京都書房 2012 年
8. 『芥川と犀星』（共著）おうふう 2012 年
9. 『太宰とかの子』（共著）おうふう 2013 年
10. 『京都近代文学事典』（共著）和泉書院 2013 年
11. 『高等学校 現代文 B「テスト問題集現代文編』（共著）明治書院 2014 年
12. 『新編 ひたむきな人々 ―近代小説の情熱家たち―』（共著）龜鳴屋 2021 年

【論文】

1. 『『人間失格』における「痰壺」、『京都語文』第 8 号、pp.160-164、2001 年 10 月
2. 「雑誌から見る中也の初期詩篇について―「白痴群」「生活者」の比較を通して―」『四季派学会論集』第 10 集、pp.12-26、2002 年 6 月
3. 「「道化の華」の一つの引用―ダンテ『神曲』「地獄の門」銘文引用に関する翻訳の問題点―」『佛教大学大学院紀要』第 31 号、pp.103-111、2003 年 3 月
4. 「詩集と初出誌と読者の関係―『山羊の歌』先行研究史上に働いていた中也

- のメディア戦略—『昭和文学研究』第47集、pp.36-50、2003年9月
5. 「松本清張『明治金沢事件』における典拠—『石川県史』との比較を通して—」『京都語文』第10号、pp.232-249、2003年11月
 6. 「伝統と道具—「白痴群」創刊号発表詩篇という中也のマニフェスト—」『中原中也研究』第9号、pp.105-116、2004年8月
 7. 「〈悔恨〉と〈祈り〉—中原中也「白痴群」発表詩篇を読む—」『中原中也研究』第10号、pp.143-153、2005年8月
 8. 「メディアの要請に応える詩—『四季』『歷程』における中原詩の特質をめぐって—」『京都語文』第13号、pp.125-142、2006年11月
 9. 「中原中也と〈京都〉—心象風景として再構築された〈都市空間〉—」『佛教大学総合研究所紀要』第14号、pp.12-26、2007年3月
 10. 「文芸誌「生活者」に発表された中原詩の一側面を—ボードレールの翻訳詩をめぐって—」『日本現代詩研究者国際ネットワーク』会報第28号、pp.3-4、2007年4月
 11. 「〈夕焼小焼を唄う少年〉の精神—中原中也「歷程」発表詩篇を読む—」『京都語文』第14号、pp.211-227、2007年11月
 12. 「「生命主義」言説圏から生成される詩—文芸誌「生活者」に発表された中原詩の特質をめぐって—」『國學院雑誌』第109巻第6号、pp.1-14、2008年6月
 13. 「〈観光〉・〈自殺〉・〈恋愛〉—中谷孝雄「春の絵巻」に表象された〈京都〉—」『佛教大学総合研究所紀要別冊 京都における日本近代文学の生成と展開』、pp.125-142、2008年12月
 14. 「〈新しい小説〉としての表現技法—内田百閒「東京日記」論—」『國學院雑誌』第110巻第9号、pp.30-43、2009年9月
 15. 「〈知性〉と〈感情〉の詩学—「四季」に発表された中原中也の散文詩をめぐって—」『國學院雑誌』第111巻第6号、pp.32-44、2010年6月
 16. 「中谷孝雄「春の絵巻」再論—文芸雑誌「行動」との関係性をめぐって—」『京都語文』第18号、pp.194-211、2011年11月
 17. 「〈理想の詩〉をめぐって—中原中也「都会の夏の夜」評釈—」『言語文化論叢』第6号、pp.211-227、2012年9月
 18. 「中谷孝雄「春」考—川端康成との関係をめぐって—」『京都語文』第19号、pp.263-278、2012年11月
 19. 「〈科学〉を凌駕する〈オカルティズム〉—阿部知二「化生」論—」『言語文化論叢』第7号、pp.15-25、2013年9月
 20. 「〈美〉に取り憑かれた男たちの物語—中谷孝雄「春の絵巻」をめぐって—」『言語文化論叢』第8号、pp.25-32、2014年9月
 21. 「太宰治「芸術ざらひ」論—「芸術」を超越する「映画」の可能性をめぐって—」『大月短大論集』第47号、pp.1-14、2016年3月

22. 「28年度施行カリキュラムにおける「教養演習」の改革(1)」(共著)『大月短大論集』第47号、pp.15-42、2016年3月
23. 「阿部昭「天使が見たもの」論—〈救済〉されない〈天使の物語〉—」『大月短大論集』第48号、pp.1-19、2017年3月
24. 「28年度施行カリキュラムにおける「教養演習」の改革(2)」(共著)『大月短大論集』第48号、pp.47-70、2017年3月
25. 「表象される〈京都〉—中谷孝雄「春」をめぐって—」『四季派学会論集』第22集、pp.12-25、2017年12月
26. 「山田詠美「ベッドタイムアイズ」論—〈新しいリアリズム〉をめぐって—」『大月短大論集』第50号、pp.1-19、2019年3月
27. 「松本清張「尊厳」論—交わることが叶わない人間の物語—」『大月短大論集』第51号、pp.1-16、2020年3月
28. 「桜井亜美『イノセント ワールド』論—表象される〈イノセンス〉—」『大月短大論集』第52号、pp.1-18、2021年3月
29. 「松本清張「老春」論—永遠に出口のない〈業〉の物語—」『大月短大論集』第53号、pp.1-15、2022年3月
30. 「松本清張「氷雨」論—女の意地の果てに見出された〈人間模様〉—」『大月短大論集』第54号、pp.1-12、2023年3月
31. 「阿部昭「約束」論—〈性欲〉と〈恋愛〉の境界線—」『大月短大論集』第55号、pp.1-16、2024年3月
32. 「阿部昭「怪異の正体」論—「最後の小説」という〈希望〉—」『大月短大論集』第56号、pp.1-14、2025年3月
33. 「石田衣良「泣かない」論—〈恋愛〉におけるそれぞれの〈決断〉—」『大月短大論集』第57号、pp.1-13、2026年3月

【その他】(報告書、書評、翻訳、エッセイなど)

1. 「中原中也の会第6回研究集会印象記」、『中原中也の会会報』第12号、pp.3-4、2002年7月
2. 「中原中也の会第14回研究集会印象記」、『中原中也の会会報』第28号、pp.6-5、2010年7月
3. 「日本近代文学会関西支部会春期大会報告」、『日本近代文学会会報』113、pp.37-38、2010年9月
4. 書評「加藤邦彦著『中原中也と詩の近代』」、『四季派学会論集』第16集、pp.37-40、2011年12月
5. 書評「外村彰著『岡本かの子 短歌と小説—主我と没我と—』」、『論究日本文学』第96号、pp.184-187、2012年5月

【学会報告・研究発表】

1. 「雑誌から見えてくる中也詩の特徴」、四季派学会秋季大会、2000年11月、大阪教育大学柏原キャンパス
2. 「昭和四、五年の中也詩をめぐって—〈マニフェスト〉としての「白痴群」創刊号発表詩篇—」、中原中也の会 研究集会、2003年5月、彩の国さいたま芸術劇場映像ホール
3. 「中原中也と〈京都〉—書記行為に表象された中也の〈京都像〉—」、四季派学会秋季大会、2005年11月、中京大学センタービル
4. 「〈四季派詩人・中原中也〉の詩—〈知性〉と〈感情〉の詩学—」、日本現代詩研究者国際ネットワーク研究報告会、2009年10月
5. 「四季派学会秋季大会 研究発表司会」、四季派学会秋季大会、2007年11月、佛教大学
6. 「四季派学会春季大会 研究発表司会」、四季派学会春季大会、2008年6月、大谷大学
7. シンポジウム「Liric Jungle 21 特集座談会「中原中也とメディア転換」、中原中也座談会、2009年1月、平安女学院大学京都キャンパス会議室
8. 「中原中也の会研究集会 研究発表司会」、中原中也の会、2009年10月、日本近代文学館
9. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012年1月、佛教大学四条センター
10. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012年3月、佛教大学四条センター
11. 「中原中也の会研究集会 研究発表司会」、中原中也の会、2012年5月、神奈川近代文学館
12. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012年7月、佛教大学四条センター
13. 「公開講座「詩歌の悦楽」」、2012年9月、佛教大学四条センター
14. 「公開講座「放課後の文学教室」」、2013年7月、佛教大学四条センター
15. 「公開講座「放課後の文学教室」」、2013年9月、佛教大学四条センター
16. 「公開講座「放課後の文学教室」」、2014年7月、佛教大学四条センター
17. 「中央市民大学〈専門講座〉文化・歴史—昭和初期の時代—」、2014年10月、尼崎市立中央公民館
18. 「中央市民大学〈専門講座〉文化・歴史—昭和初期の時代—」、2014年10月、尼崎市立中央公民館
19. 四季派学会冬季大会 研究発表司会、2015年12月、駒澤大学
20. 四季派学会夏季大会 研究発表司会、2016年6月、恵泉女学園大学
21. 中原中也の会 第21回大会総合司会、2016年9月、セントコア山口
22. 四季派学会夏季大会 研究発表 題目「中谷孝雄論 —小説「春」をめぐって—」、2017年6月、恵泉女学園大学
23. 平成29年度山梨県民コミュニティカレッジ「哲学するとは何か」（組

織者：渡邊浩史)、2017年10月18日、大月短期大学

24. 四季派学会冬季大会 総合司会及び研究発表司会、2017年11月18日、法政大学市ヶ谷キャンパス
25. 四季派学会夏季大会 総合司会及び研究発表司会、2018年6月30日、法政大学市ヶ谷キャンパス
26. 四季派学会冬季大会 総合司会、2018年11月24日、法政大学市ヶ谷キャンパス
27. 四季派学会夏季大会 総合司会、2021年6月26日、神奈川近代文学館
28. 四季派学会冬季大会 総合司会、「《没後80年 萩原朔太郎大全2022》」2022年11月26日、法政大学市ヶ谷キャンパス
29. 四季派学会夏季大会 総合司会及び研究発表司会、「三好達治小特集」2023年6月17日、法政大学市ヶ谷キャンパス
30. 四季派学会冬季大会 総合司会及び研究発表司会、「萩原朔太郎特集」2023年11月25日、法政大学市ヶ谷キャンパス
31. 四季派学会夏季大会 総合司会及び研究発表司会、「《生誕110年記念 立原道造特集》」2024年6月29日、ヘリテイジ浦和 別所沼会館

【学会関係】

- 1.四季派学会、運営委員、2001年4月～現在
- 2.日本現代詩研究者国際ネットワーク、理事、2008年4月～現在
- 3.四季派学会、理事、2009年6月～現在
- 4.中原中也の会、理事、2011年9月～2020年9月
- 5.中原中也の会、編集委員、2016年9月～2020年9月
- 6.四季派学会、編集委員、2016年11月～現在
- 7.昭和文学会、編集委員、2019年8月～2021年8月

【社会活動】

- 1.「哲学するとは何か 第1回 文学作品から見えてくる哲学」県民コミュニティーカレッジ、大月短期大学、2017年10月
- 2.やまなし観光カレッジ、コーディネーター、2019年4月～2020年3月
- 3.教養文化養成事業、企画運営・講師紹介及び総合司会、2024年11月5日
- 4.教養文化養成事業、企画運営・講師紹介及び総合司会、2025年11月18日